

# 公開データベースで見る和古書の絵

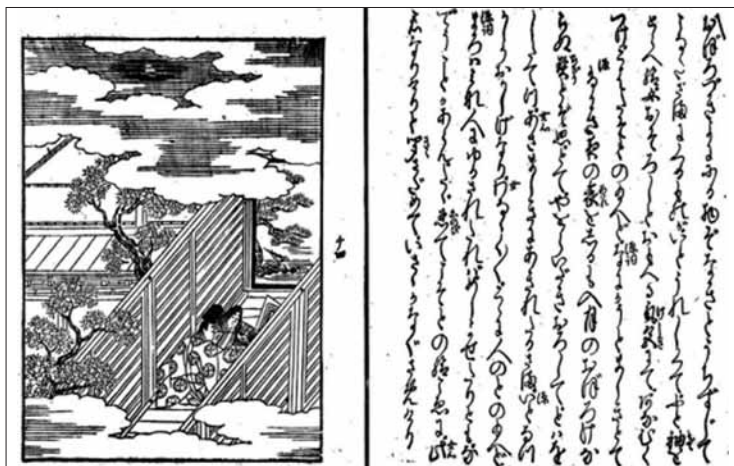


図1 『源氏物語』（承応三年版本） 花宴の巻



図2 『新編歌俳百人撰』 市川團十郎〔元祖〕



図3 『大黒舞』（江戸時代写）

国文学研究資料館は、現在、webサイト「電子資料館」から三十以上のデータベースを公開しています。その一つ、「所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録データベース」には、国文学研究資料館が所蔵する和古書の公開画像が保存されています。データベース利用者は、目録データを検索して、検索結果の書誌詳細情報から和古書画像を、書誌一まとまりの単位で閲覧することができます。実は、和古書画像を閲覧する方法はこれだけではありません。国文学研究資料館の他のデータベースから、様々な方法で、書誌の特定のページの和古書画像を探することができます。今回は、絵のある和古書画像を参照できるデータベースを紹介します。

「古典選集本文データベース」に含まれる「絵入源氏物語データベース」は、承応三年版本の『源氏物語』のテキストデータベースです。検索結果の本文テキストで見開きページ上の和古書画像を見ることができます。図1は、『源氏物語』の「花宴」の巻です。「おぼろづきよにる物ぞなき」などのテキスト検索入力から、光

源氏と朧月夜の挿絵を含む画像を参照することができます。

「歴史人物画像データベース」では、人物名一覧やキーワード検索によって、その人物の画像を書誌ごとく並べて一覧にしたページを見ることができます。図2は、その画像一覧にある、柳下亭種員の撰集『新編歌俳百人撰』の中で歌川豊国の描いた「市川團十郎〔元祖〕」の画像です。このデータベースの画像の典拠元には、古典籍だけでなく近代の国文学研究資料館蔵資料も含まれています。

「新奈良絵本データベース」では、御伽草子などを題材にした「奈良絵本」の挿絵を冊子・巻物ごとの一覧から、画像をページ送りで見たり、スライドさせて見たりすることができます。図3は、江戸時代前期に書写された『大黒舞』の絵巻の一部です。

これらのデータベースは、「所蔵和古書・マイクロ/デジタル目録データベース」からでも参照できる絵の画像を、それぞれの方法で検索・閲覧できるようにしているというわけです。

(古瀬 蔵)